

スキャンダルニナイス



烏賊松

ド。ン。ポ。ーン



ド。ン。ポ。ーン

なんだよ
こんな時間
に……



ド。ン。ポ。ーン

ああもう
うるせえな！

ド。ン。ポ。ーン

ド。ン。ポ。ーン



ガキヤツ



ただいまあず



アサミ



なんだお前

……
こんな夜中に
帰って来やが
つて……



親父たちが
いないからって
遊び回ってんじゃ
ねーよ！！







「...」



「このバカ」

「パンツ丸出して何やってんだ...」



「おい起きろアサミ!!」

「寝るんなら自分の部屋行って寝ろ!!」



ん〜



「つたく」

「ジャマだろうが!」



「ヤジさびしぞー!」

「こんなトコロで寝るつもりなら」



う〜ん

「ケイくんまだエッチしたいの〜?」

「今日はもうお休み〜」

「おめー!」



ふうん

ナマイキに
やるコトは
しつかり
やってんだな



だ…
誰だよ
ケイくん
って…

カレシか
………?



ちやんと
自分で
歩けよ

重いん
だからよ



ほら立て
アサミ!!

うん



なんだ
コイツだ…

モヤモヤ

いつの間
にこんな
胸になっ
たんだ?
デカイ





アサミは
もう20歳だ

まだエッチ
したいの？

今日はもう
やだよ

なんていふか...

ああいう事を
口にするアサミが
妙に生々しくて

アサミが
俺の知っている
妹ではなく
一人のオシナのようだ
思えてならなかった

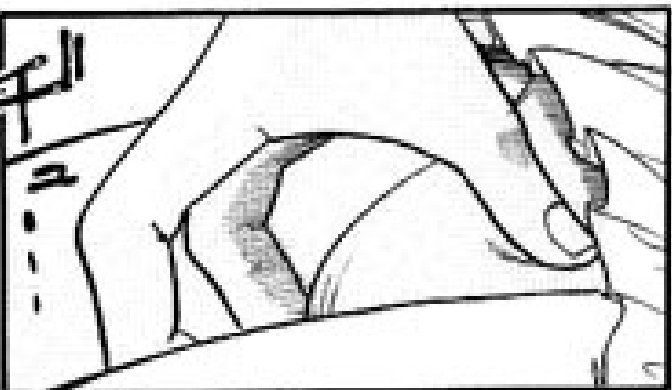
アサミをベッドに
寝かせてから30分後

俺は
アサミの部屋に
向かって歩いてきた

普段とは違う
妹を見て
俺の中の悪い虫が
うずきだしたのだ

その日両親が
旅行で家に
いなかった事も
俺の自制心を奪う
一因になっていた







ケイくん
ダメだって
ぼ〜



喉の奥の
全裸なまんこ
みたくはな



ん…
ちゅと



アサミでも
そういう
エッチな声
出すんだな
……

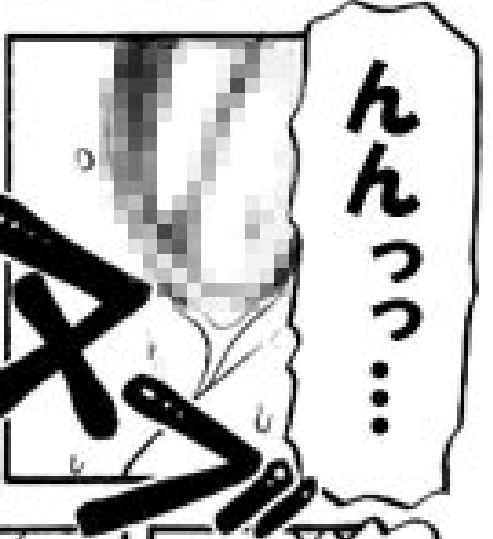
しかも
こんなに汁を
溢れさせて
……

もう
こうなったら
兄妹とか
関係ねえ！

行くところまで
行ってやる！！



うあん
あ…



んんっっ…



あああ
ケイクン…
いっほい
出っっっ



アサミ
アイクモ
アサミ
っ！！



ケイクン…
ダメエ…
ああん
ソロ…
もっさ
もっさ…



ケイ…
∨…



なぜか今では
両親の目を盗んでは
SEXをする

